

武蔵野市地域公共交通活性化協議会規約

(目的)

第1条 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号。以下「法」という。）第6条第1項の規定に基づき、同法第5条に規定する地域公共交通計画（以下「地域公共交通計画」という。）の作成に関する協議及び地域公共交通計画の実施に係る連絡調整を行うため並びに道路運送法（昭和26年法律第183号）の規定に基づき、武蔵野市内の各地域の需要に応じ、住民の生活に必要な旅客運送を確保し、その他旅客の利便を増進し、各地域の実情に即した旅客輸送を実現するため、武蔵野市地域公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(事務所)

第2条 協議会の事務所は、武蔵野市緑町二丁目2番28号に置く。

(事業)

第3条 協議会は、第1条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 地域公共交通計画の策定及び変更の協議に関すること。
- (2) 地域公共交通計画の実施に係る協議及び連絡調整に関すること。
- (3) 地域公共交通計画に位置付けられた事業の実施に関すること。
- (4) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃、料金等に関する事項
- (5) 自家用旅客有償運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項
- (6) 地域循環バス等地域の実情に即した輸送サービスに関する事項
- (7) 前各号に掲げるもののほか、第1条の目的を達成するために必要な事項

(組織)

第4条 協議会は、会長、副会長、座長及び委員をもって組織する。

(会長、副会長及び座長)

第5条 会長、副会長及び座長は、次条第1項の規定に基づき、委員となるべき者の中から、これを選任する。

2 会長は、協議会を代表し、その会務を総理する。

3 副会長は、会長及び座長（以下「会長等」という。）を補佐して協議会の業務を掌理し、会長等に事故があるとき又は会長等が欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の委員)

第6条 協議会の委員は、次に掲げる者とする。

- (1) 武蔵野市長又はその指名する者
- (2) 一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体を代表する者
- (3) 住民又は利用者を代表する者
- (4) 関東運輸局長又はその指名する者
- (5) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体を代表する者
- (6) 学識経験者その他協議会が必要と認める者
- (7) 交通管理者
- (8) 道路管理者
- (9) 前各号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者

(会議)

第7条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、座長が議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。

3 会議の議決方法は、出席した委員による全会一致を原則とする。ただし、意見が分かれる等座長がやむを得ないと認めるときは、座長及び出席委員の3分の2以上の多数をもって決するものとする。

4 会議は、原則として公開とする。ただし、審議内容が武蔵野市情報公開条例（平成13年3月武蔵野市条例第5号）第6条第1項ただし書の規定に該当する場合は、会議の決定により公開しないことができる。

5 協議会は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は助言等を求めることができる。

6 前各項に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(協議結果の尊重義務)

第8条 協議会で協議が整った事項については、協議会の構成員は、その協議結果を尊重しなければならない。

(幹事会)

第9条 協議会に提案する事項について、協議又は調整をするため、必要に応じ協議会に幹事会を置くことができる。

2 幹事会の組織、運営その他必要な事項は、会長が別に定める。

(分科会)

第10条 第3条各号に掲げる事項について、専門的な調査及び検討を行うため、必要に応じ協議会に分科会を置くことができる。

(謝礼等)

【資料1】

第11条 第6条各号に掲げる委員のうち、住民又は利用者を代表する者及び学識経験者が会議等に出席したときは、謝礼を支払うものとする。ただし、謝礼の辞退の申出があったときは、支払わないものとする。

2 謝礼の額は、1日につき12,000円とする。

3 その他、必要に応じ旅費相当額を支給することができる。

(事務局)

第12条 協議会の業務を処理するため、協議会に事務局を置く。

2 事務局は、武蔵野市都市整備部交通企画課に置く。

3 事務局に事務局長、副事務局長及び事務局員を置き、会長が定めた者をもって充てる。

4 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

5 地域公共交通に関する相談等に対応するため、次の連絡窓口を定めるものとする。

(武蔵野市地域公共交通に関する相談窓口) 武蔵野市都市整備部交通企画課地域交通係 連絡先 電話番号 0422 (60) 1859 ファクシミリ番号 0422 (51) 9245

(委任)

第13条 この規約に定めるもののほか、協議会の事務の運営上必要な細則は、会長が別に定める。

附 則

この規約は、平成21年3月16日から施行する。

附 則

この規約は、平成22年7月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成31年4月26日から施行する。

附 則

この規約は、令和4年1月19日から施行する。

附 則

この規約は、令和5年7月31日から施行する。

武蔵野市地域公共交通活性化協議会構成員名簿

六条

令和6年7月1日現在

区分	所 属	委 員		交通事業 分科会	
第1号	武蔵野市長又はその指名する者	武蔵野市 都市整備部長	大塚 省人	オオツカ マサト	
		武蔵野市 健康福祉部長	山田 剛	ヤマダ タケシ	○
第2号	一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体	小田急バス(株) バス事業本部計画部 課長代理	大庭 久継	オオバ ヒサツグ	○
		関東バス(株) 取締役 運輸部長	土屋 敏和	ツチヤ トシカズ	○
		京王電鉄バス(株) 運輸営業部乗合事業担当課長	早田 俊介	ソウダ シュンスケ	○
		西武バス(株) 計画課長	秦野 凌	ハタノ リョウ	○
		一般社団法人 東京バス協会 乗合業務部長	富樫 秀樹	トカシ ヒデキ	
		一般社団法人 東京ハイヤー・タクシー協会 武・三支部 顧問	千田 裕	センダ ヒロシ	○
第3号	住民または利用者	武蔵野市コミュニティ研究連絡会	青木 一郎	アキ イチロウ	
		武蔵野市老人クラブ連合会 会長	木川 憲子	キガワ リコ	
		レモンキャブ運行管理者	平野 明夫	ヒラノ アキオ	○
第4号	関東運輸局長またはその指名する者	国土交通省 関東運輸局 東京運輸支局 首席運輸企画専門官(輸送担当)	佐藤 義尚	サトウ ヨシヒサ	
		国土交通省 関東運輸局 東京運輸支局 首席運輸企画専門官(総務企画担当)	中山 俊夫	ナカヤマ トシオ	
第5号	一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転手が組織する団体	日本私鉄労働組合連合会 関東バス労働組合 執行委員長	舟山 明久	フナヤマ アキヒサ	○
		全国自動車交通労働組合 総連合東京地方連合会 執行委員	月村 隆浩	ツキムラ タカヒロ	○
第6号	学識経験を有する者その他交通会議の運営上必要と認める者	福島大学 人文社会学群 経済経営学類 教授 前橋工科大学 学術研究院 特任教授 (クロスアポイントメント)	吉田 樹	ヨシダ イツキ	○
		東京都都市整備局都市基盤部 地域公共交通担当課長	武山 信幸	タケヤマ ノブユキ	
		武蔵野商工会議所 事務局長	玉田 千尋	タマダ チヒロ	
第7号	交通管理者	警視庁武蔵野警察署 交通課長	木下 潤	キノシタ ジュン	
第8号	道路管理者	東京都建設局北多摩南部建設事務所 管理課長	犬竹 幹人	イヌタケ ミキト	

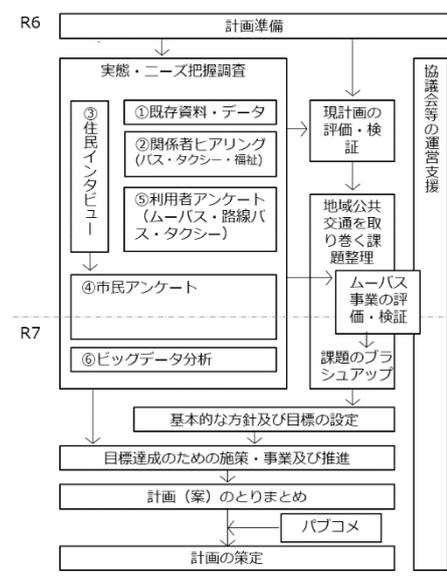
武蔵野市地域公共交通計画の策定について

< 目次 >

1. 武蔵野市地域公共交通計画の概要	2
2. 策定スケジュール	3
3. 策定の視点.....	4

1. 武蔵野市地域公共交通計画の概要

武蔵野市地域公共交通計画の概要は次のとおり。

<p>策定の目的</p>	<p>本市では、令和2年度に「武蔵野市地域公共交通網形成計画」を策定し、地域公共交通の活性化に関する様々な施策・取り組みを行ってきている。</p> <p>一方、「武蔵野市地域公共交通網形成計画」策定から約4年が経過し、この間のコロナ禍をはじめ、乗務員不足等地域公共交通を取り巻く事業環境、国の法制度の改正等の外部環境は大きく変わってきている。</p> <p>このため、持続可能な地域公共交通ネットワーク形成に向けて、多様な交通手段を横断的に再構築し、最適かつ効率的なネットワーク及びサービスのあり方を示していくことが求められている。</p> <p>これらの課題に対応するために、「武蔵野市地域公共交通網形成計画」を改定し、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に規定する「武蔵野市地域公共交通計画」を令和6年度及び令和7年度の2箇年で策定する。</p>
<p>策定までの流れ</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>■令和6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> - 実態・ニーズ把握調査 <ul style="list-style-type: none"> ・データ整理・分析 ・住民グループインタビュー ・各種ヒアリング・アンケート - 現計画の評価・検証 - 地域公共交通を取り巻く課題の整理 - ムーバス事業の評価検証 <p>■令和7年度</p> <ul style="list-style-type: none"> - ビッグデータ分析 - 地域公共交通を取り巻く課題のブラッシュアップ - 基本的な方針及び目標の設定 - 目標達成のための施策・事業及び推進 - 計画（案）のとりまとめ </div> <div style="width: 50%;">  <p>図 策定フロー</p> <p>※スケジュールは3ページを参照</p> </div> </div>
<p>計画期間</p>	<p>令和8年（2026）年～令和12年（2030）年</p>
<p>記載事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画概要 ・地域及び公共交通の現状 ・現計画（地域公共交通網形成計画）の検証 ・地域公共交通の課題 ・基本的な方針、目標 ・施策及び事業 ・計画目標の達成状況の評価方法

2. 策定スケジュール

策定のスケジュールは下表のとおり。

	令和6（2024）年度												令和7（2025）年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和6年度業務	(1) 計画準備																							
	(2) 実態・ニーズ把握調査の実施																							
	① 既存資料・データの収集・整理・分析																							
	② 関係者ヒアリング																							
	③ ムーバス利用者アンケート調査																							
	④ 路線バス利用者アンケート調査																							
	⑤ タクシー利用者アンケート調査																							
	⑥ 市民アンケート調査																							
	⑦ 住民グループインタビュー調査																							
	(3) 現計画の評価・検証																							
(4) 地域公共交通を取り巻く課題整理																								
(5) 業務報告書の作成																								
令和7年度業務	(1) 計画準備																							
	(2) 実態・ニーズ把握調査の実施																							
	ビッグデータ活用・分析																							
	(3) ムーバス事業の評価・検証																							
	(4) 基本的な方針及び目標の設定																							
	(5) 目標達成のための施策・事業及び推進方策の検討																							
	(6) 計画（案）のとりまとめ																							
	(7) 業務報告書の作成																							
	パブリックコメント																							
	活性化協議会																							
交通事業者分科会																								

第1回協議会・分科会 議題
 ・策定スケジュール
 ・検討の視点
 ・利用者アンケート確認

第2回協議会・分科会 議題
 2-1 ・データ整理・分析の結果
 ・現計画の評価・検証
 ・住民グループインタビュー結果
 ・利用者アンケート調査結果
 2-2 ・市民アンケート確認

第3回協議会・分科会 議題
 ・市民アンケート実施結果について
 ・データ整理・分析の結果③
 ・地域公共交通の課題（案）
 ・基本方針、計画目標、評価指標（案）

第4回協議会・分科会 議題
 ・基本ビッグデータ分析結果
 ・方針、計画目標、評価指標
 ・施策および事業（案）①
 ・地域公共交通計画（案）提示

第5回協議会・分科会 議題
 ・施策および事業（案）②
 ・地域公共交通計画（案）承認

第6回協議会・分科会 議題
 ・パブリックコメントの実施結果
 ・地域公共交通計画の承認

3. 策定の視点

武蔵野市地域公共交通の策定の視点は下記のとおり。

方針 1	現計画（網形成計画）の評価・検証を行い、新計画（地域公共交通計画）に反映する。
	<ul style="list-style-type: none">● 目標値の達成状況の確認（評価指標の確認）● 解決された課題、積み残し課題、新たに生じた課題の確認● 施策事業の実施状況の確認、今後の実現可能性の検証 等
方針 2	バス交通（ムーバス等）だけでなく、タクシー・レモンキャブ・つながり・自転車等を含めて、多様なモビリティの相互関係や施策を検討する。
	<ul style="list-style-type: none">● タクシー事業者・レモンキャブ関係者へのヒアリング調査の実施● 武蔵野市自転車等総合計画の改定との連携● モビリティ同士の連携（乗継利用や使い分け状況）の把握 等
方針 3	充足した交通ネットワーク維持の視点から、取り巻く環境整備を重視する。
	<ul style="list-style-type: none">● 都市計画との連携（駅前空間、道路整備等）● 公共交通に関する人材の確保（官民連携の研究）● 脱炭素社会への対応（運行車両のEV化等） 等
方針 4	施策を着実に実施できる体制とスケジュールを検討する。
	<ul style="list-style-type: none">● 分科会等の継続的な開催● 計画期間スケジュールに加えて、詳細なスケジュールの検討 等

各種調査の実施について

< 目次 >

1. データ集計・分析	2
2. 関係者ヒアリング	3
3. 住民インタビュー	3
4. 市民アンケート調査	4
4-1 実施概要	4
4-2 調査項目	4
5. ムーバス利用者アンケート調査	5
5-1 実施概要	5
5-2 調査項目	5
6. 路線バス利用者アンケート調査	7
6-1 実施概要	7
6-2 調査項目	7
7. タクシー利用者アンケート調査	8
7-1 実施概要	8
7-2 調査項目	8

1. データ集計・分析

公表データや関係者提供データ等を基に、データの集計・分析を行う。分析項目は下表のとおり。

表 分析項目（案）

分析項目		分析の視点・使用データ
◆地域の現状	人口動態	<ul style="list-style-type: none"> 国勢調査や住民基本台帳を基に、人口推移・人口分布・高齢化率・単身高齢世帯数等を集計し、移動の発生地、公共交通サービスの必要性を確認する。
	自家用車利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 市保有データから自動車保有台数を集計し、自家用車依存状況等を確認する。 市保有データ等から市内の交通渋滞状況を確認し、公共交通施策検討に活用する。
	市民・来街者の移動状況	<ul style="list-style-type: none"> 国勢調査を基に、通勤・通学における移動状況を集計し、市民がどこへ移動しているのか、来街者がどこから訪れているのかを整理することで、必要となる広域移動サービスを確認する。 市保有データ等から観光施設入込客数の推移を集計し、来訪ニーズの総量を把握する。
◆公共交通の現状	運行状況	<ul style="list-style-type: none"> 市保有データや交通事業者ホームページ等を基に、市内の公共交通ネットワークや各路線のサービス水準等を集計し、市内の公共交通サービス提供状況を整理する。
	利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 市保有データや事業者提供データを基に、路線別利用者数の推移等を集計し、各路線の利用状況を整理する。また、新型コロナウイルス感染症等による影響も確認する。
	財政状況	<ul style="list-style-type: none"> 市保有データからムーバスや福祉交通に対する財政負担額の推移等を集計し、今後のサービス展開検討に活用する。
◆まちづくりの変化	施設立地	<ul style="list-style-type: none"> 国土数値情報等を基に、買物施設や医療施設等の立地状況を整理することで、移動の目的地を把握する。 特に、廃止となった施設、新設された施設を確認する。

2. 関係者ヒアリング

表 関係者ヒアリング調査概要（案）

	調査概要	
調査目的	公共交通事業者が抱える問題点や課題、本市の地域公共交通に求められる役割、他分野との連携施策等を把握することを目的とする。	
調査対象 及び 把握項目	対象	把握項目
	路線バス事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・人員や車両台数 ・今後のサービス見直し予定 →本市における廃止、減便、新たなサービス等
	タクシー事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・人員や車両台数 ・市内におけるタクシー利用状況 ・ライドシェア開始による変化等
	庁内関係課 （福祉、子育て、都市計画等）	<ul style="list-style-type: none"> ・交通弱者の移動における困りごと ・福祉交通と公共交通の役割分担 ・各関係課から公共交通分野に求めること ・各分野と連携した取組みの可能性等
	武蔵野市民社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・レモンキャブの利用状況 ・レモンキャブ事業が抱える問題点・課題等
調査時期	2024年7月～8月頃	
調査方法	ヒアリングシートに沿って、対面で聞き取りを行う。	

3. 住民インタビュー

表 住民インタビュー概要（案）

	調査概要	
実施目的	日常生活における移動についての困りごとや市の地域公共交通に関する意見、ムーバスが生活に与えている影響等を把握し、ムーバスをはじめとする公共交通サービスの改善と効率化、今後の新たな交通サービス等の検討のための材料を得ることを目的とする。	
参加者 及び 把握項目	参加者	テーマ
	市民（子育て世代、高齢者等） ※市民は10名程度を想定	<ul style="list-style-type: none"> ・外出に関する困りごと ・地域公共交通に求めるもの ・コロナ前後の生活様式の変容 ・ムーバスのあり方に関すること等
調査時期	2024年8月～10月頃（可能であれば、同一メンバーで複数回実施）	
調査方法	テーマに沿って、参加者と一緒に地域公共交通やムーバスのあり方について考える。	

4. 市民アンケート調査

4-1 実施概要

表 市民アンケート調査概要（案）

	調査概要
調査目的	市民の日常的な移動実態や地域公共交通の利用状況、新たなニーズを把握するとともに、現計画の検証を行うことを目的とする。
調査対象	16歳以上の市民3,000人（無作為抽出）
調査時期	2025年3月頃
調査方法	郵送配布・郵送回収（QRコードを活用した回収含む）

4-2 調査項目

調査項目は下記のとおり。

表 市民アンケート調査項目（案）

調査項目	分析の視点
<p>◆日常生活の外出状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的別（通勤、通学、通院、買物等）の外出頻度、移動時間、移動手段、目的地 外出頻度の変化（リモートワークの実施状況） 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の移動実態やニーズを把握し、現行の公共交通網・運行ダイヤと照らし合わせることで、移動実態やニーズとのズレや問題点を整理し、改善策を検討。 過年度調査結果と比較し、移動実態について、どのような変化が生じているのかを確認する。
<p>◆公共交通の利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利用有無（晴天時・雨天時）、利用している公共交通、利用時間帯、利用する理由、利用しない理由、利用における問題点 公共交通の乗継利用状況 <p>◆運行内容に対する満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> 運行ルート、運行時間帯、運行本数、定時性、乗継、バス停、情報提供 等 <ul style="list-style-type: none"> 公共交通等の外出手段の満足度 駐輪場に関する満足度 <p>◆公共交通に対する考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通に対する財政負担への考え方 求める公共交通サービスのイメージ 	<ul style="list-style-type: none"> どのようなケースで各公共交通を利用しているのかを把握し、公共交通サービスの役割分担を検討。また、公共交通の乗継状況を把握し、連携方策の検討に活用。 公共交通の利用状況・サービス満足度を把握し、運行内容の見直し検討に活用。 「武蔵野市の公共交通等の外出手段の満足度」「駐輪場関係の満足していない割合」を把握し、現計画の目標達成状況を確認。
<p>◆基本属性</p> <ul style="list-style-type: none"> 年齢、性別、世帯構成、居住地、免許保有、自動車保有、スマートフォン保有、ICカード保有 	<ul style="list-style-type: none"> 年齢や世帯構成は、高齢者や子育て世帯の集計時に活用 高齢者におけるデジタル技術への抵抗感を把握

5. ムーバス利用者アンケート調査

5-1 実施概要

表 ムーバス利用者アンケート調査概要（案）

	調査概要
調査目的	ムーバス 1～7 号の路線別の利用者属性や利用実態、現行の運行内容への評価、問題点・改善要望、今後の運行内容・運賃体系に対する意見等を把握し、ムーバス事業の評価・検証を行うことを目的とする。
調査対象	ムーバスの利用者
調査時期	2024 年 9 月実施予定 ※平日、土日祝日 各 1 日間（10 時～16 時）
調査方法	調査員による車内乗り込み調査（車内にて調査票を配布し、郵送回収）

5-2 調査項目

調査項目は下記のとおり。

表 ムーバス利用者アンケート調査項目（案）

調査項目（赤字は変更点）	調査により明らかにすること
◆回答者の基本属性 ・性別、年齢、居住地（市内・市外）、職業	・利用者層を把握すると同時に、交通弱者による利用状況を整理する。
◆調査日の利用状況 ・行きのみ、帰りのみか、他の利用交通手段 ・乗降区間、時間帯、乗車目的 等 ・同乗者 ◆普段の利用状況 ・利用頻度 ・利用頻度の変化、変化の理由 ◆その他の公共交通サービス ・乗継利用状況、乗継で重視するもの ・他に利用する交通機関 ・自転車利用の頻度・目的 ・定期利用している駐輪場、場所	・どのようなケースでムーバスが利用されているのかを把握し、ムーバスが担うべき役割の検討に活用。また、公共交通の乗継状況を把握し、連携方策の検討に活用。 ・外出状況の変化及び今後の見込みを把握することで、ムーバスの将来的なニーズを把握する。
◆運行内容に対する満足度 ・運行ルート、運行時間帯、運行本数、定時性、運賃、バス停までの距離 ・運賃に対する考え方 等	・公共交通の利用状況・サービス満足度を把握し、運行内容の見直し検討に活用。（移動ニーズとのズレが生じていないかを確認する。）
◆ムーバス利用による効果 ・ムーバスを利用する理由 ・ムーバスがなくなった場合の外出頻度、交通手段の有無 ・ムーバスのあり方（運転手不足対応・財源）	・市民生活やまちづくりに対する効果を把握し、ムーバス事業の評価検証に活用。 ・乗務員不足等、ムーバスの維持継続に必要な見直しに対する利用者の考え方も把握する。

◆削除した項目

- 勤務先・通学先
- 具体的な目的地
- 自宅等がムーバスの沿線地域にあるか
- バス停まで歩いてどのくらいか
- 天気の良い日と悪い日の交通手段
- 運転免許の保有状況
- 自由に使える交通手段

6. 路線バス利用者アンケート調査

6-1 実施概要

路線バスを利用している方にアンケート調査を実施し、利用実態や評価・改善要望、属性等を把握する。

表 路線バス利用者アンケート調査概要（案）

	調査概要
調査目的	路線バスを利用している方の利用実態や評価・改善要望、属性等を把握することを目的とする。
調査対象	路線バスの利用者
調査時期	2024年9月実施予定 ※平日、土日祝日 各1日間（10時～16時）
調査方法	市内主要バス乗り場にて調査票を配布し、郵送回収

6-2 調査項目

調査項目は下記のとおり。

表 路線バス利用者アンケート調査項目（案）

調査項目（赤字は変更点）	調査により明らかにすること
◆回答者の基本属性 ・性別、年齢、居住地（市内・市外）、職業	・利用者層を把握すると同時に、交通弱者による利用状況を整理する。
◆調査日の利用状況 ・行きのみ、帰りのみか、他の利用交通手段 ・乗降区間、時間帯、利用目的等 ・支払方法 ◆普段の利用状況 ・利用頻度、 ・利用頻度の変化、その理由 ◆その他の公共交通サービス ・その他の公共交通サービスの利用状況 ・乗継利用状況、乗継利用の改善点 ・自転車の利用状況等	・どのようなケースで路線バスが利用されているのかを把握し、路線バスが担う役割の検討に活用。また、公共交通の乗継状況を把握し、連携方策の検討に活用。 ・外出状況の変化及び今後も見込みを把握し、路線バスの今後のニーズを把握する。
・運行内容に対する満足度、重要度 （運行ルート、運行時間帯、運行本数、運賃、バス停までの距離 等） ・路線バスのあり方（運転手不足対応）	・サービス満足度等を把握し、運行内容の見直し検討に活用。
◆削除した項目 ・シルバーパスの有無	

7. タクシー利用者アンケート調査

7-1 実施概要

表 タクシー利用者アンケート調査概要（案）

調査概要	
調査目的	タクシーを利用している方にアンケート調査を実施し、市内におけるタクシーの利用実態や改善要望等を把握する。タクシーの日常利用のしづらさ（乗場位置や呼び出し方法等）や利用抵抗（運賃等）の有無を把握し、改善施策の検討に活用することを目的とする。
調査対象	タクシーの利用者
調査時期	2024年9月実施予定 ※平日、 <u>土日祝日</u> 各1日間（10時～16時）
調査方法	鉄道駅等のタクシー乗り場にて調査票を配布し、郵送回収 タクシードライバーから利用者に調査票を配布し、郵送回収（検討）

7-2 調査項目

表 タクシー利用者アンケート調査項目（案）

調査項目（赤字は変更点）	調査により明らかにすること
◆回答者の基本属性 ・性別、年齢、居住地（市内・市外）、 職業	・利用者層を把握すると同時に、交通弱者による利用状況を整理する。
◆調査日の利用状況 ・利用日、 時間帯 ・乗降区間、利用目的 ・探し方 ・支払方法 ◆普段の利用状況 ・利用額 ・割引制度の利用 ・利用する理由 ・重視する点 ・ ライドシェアの利用状況 ・ ライドシェアでタクシーが利用しやすくなったか ・利用頻度 ・ 利用頻度の変化 ◆その他の公共交通サービスの利用状況 ・ その他の公共交通の利用状況 ・ 自転車の利用状況等	・どのようなケースでタクシーが利用されているのかを把握し、タクシーが担う役割の検討に活用。また、福祉交通の利用状況も把握し、タクシーと福祉交通の役割分担の検討に活用。 ・外出状況の変化及び今後も見込みを把握し、タクシーの今後のニーズを把握する。 ・ライドシェア開始による効果を把握
・ 運行内容に対する満足度・重要度 ・ 利用時に困ったこと ・定期券・回数券について	・サービス満足度等を把握し、運行内容の見直し検討に活用。
◆削除した項目 なし	

令和 6 年 7 月 9 日

第 35 回地域公共交通活性化協議会

【資料 6】

ムーバスの利用状況等に関するアンケート調査（案）

日頃より武蔵野市の交通行政についてご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。武蔵野市では、市内の交通空白・不便地域を解消し、高齢のかたや小さなお子様連れのかたをはじめ、多くの人々が気軽に安全にまちに出られるようにすることを目的として、平成 7 年よりコミュニティバス「ムーバス」を運行しております。地域の皆様の支えをいただき、「ムーバス」の累計の利用者数は 5,900 万人に達しようとしており、来年 11 月には運行 30 周年を迎えます。

今後も地域の皆様にとって、より良いサービスを提供できるよう、運行へのご意見などを、お聞かせいただくとともに、令和 8 年 3 月を目途に進める「地域公共交通計画」の策定に活用させていただきます。アンケートの主旨をご理解いただき、ぜひともご協力くださいますようお願い申し上げます。なお、調査票は本調査以外の目的に使用することはありません。また、無記名ですので、ご迷惑をおかけすることはありません。

記入が終わった調査票は、返信用封筒（切手は不要です）に入れて、2024 年●月●日（●）までに郵便ポストに投函してください。

2024 年●月 武蔵野市 交通企画課地域交通係

1. あなたご自身についてお伺いします。

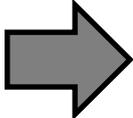
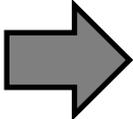
問 1 あなたの性別を教えてください。（○は一つ）

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

問 2 あなたの年齢を教えてください。（○は一つ）

1. 16 歳未満	2. 16～19 歳	3. 20～24 歳	4. 25～29 歳
5. 30～34 歳	6. 35～39 歳	7. 40～44 歳	8. 45～49 歳
9. 50～54 歳	10. 55～59 歳	11. 60～64 歳	12. 65～69 歳
13. 70～74 歳	14. 75～79 歳	15. 80～84 歳	16. 85 歳以上

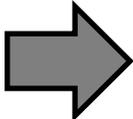
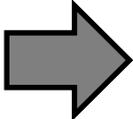
問3 あなたのお住まいを教えてください。(○は一つ)

武蔵野 <u>市内</u> にお住まいの方		1. 吉祥寺東町	2. 吉祥寺南町	3. 御殿山
		4. 吉祥寺本町	5. 吉祥寺北町	6. 中町
		7. 西久保	8. 緑町	9. 八幡町
武蔵野 <u>市外</u> にお住まいの方		10. 関前	11. 境	12. 境南町
		13. 桜堤		
		14. 杉並区	15. 練馬区	16. 三鷹市
		17. 小金井市	18. 西東京市	19. その他

問4 あなたの就業・就学の状況を教えてください。(○は一つ)

1. 会社員・公務員	2. 自営業	3. パート・アルバイト
4. 専業主婦(夫)	5. 小学生	6. 中学生
7. 高校生・高専生	8. 大学・短大・専門学校・予備校生	
9. 仕事をしていない⇒問6へ	10. その他	
	()	

問5 ~~通勤・通学されている方にお伺いします。あなたのお勤め先、通学先はどちらですか。(○は一つ)~~

武蔵野 <u>市内</u> に 通勤・通学 されている方		1. 吉祥寺東町	2. 吉祥寺南町	3. 御殿山
		4. 吉祥寺本町	5. 吉祥寺北町	6. 中町
		7. 西久保	8. 緑町	9. 八幡町
武蔵野 <u>市外</u> に 通勤・通学 されている方		10. 関前	11. 境	12. 境南町
		13. 桜堤		
		14. 杉並区	15. 練馬区	16. 三鷹市
		17. 小金井市	18. 西東京市	19. その他

2. 本日(●月●日・●)のムーブスの利用についてお伺いします。

問5 本日の利用形態を教えてください。行きのみの利用の方は帰りの交通手段、帰りのみの利用の方は行きの交通手段を教えてください。(○は一つずつ)

1. 往復の利用		1. 徒歩	2. 路線バス	3. タクシー	4. 自転車
2. 行きのみの利用					
3. 帰りのみの利用					
		5. シェアサイクル	6. その他()		

3. 「日頃のムーバスの利用」についてお聞きします。

問 13 ~~ご自宅、通勤先、通学先はムーバス吉祥寺東循環の沿線地域にありますか。(〇は一つ)~~

- | |
|--|
| 1. ムーバス吉祥寺東循環の沿線地域にある |
| 2. ムーバス吉祥寺東循環の沿線地域にない⇒問 15へ |

問 14 ~~問 13で「ムーバス吉祥寺東循環の沿線地域にある」と回答した人にお伺いします。ご自宅・通勤先・通学先からムーバスのバス停まで、歩いてどのくらいかかりますか。(〇は一つ)~~

- | | | |
|------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1. 1分未満 | 2. 2～3分くらい | 3. 4～5分くらい |
| 4. 5～10分くらい | 5. 10分以上 | |

問 11 本路線を、どの程度利用されていますか。(〇は一つ)

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に4～5回 | 3. 週に2～3回 |
| 4. 週に1回 | 5. 月に数回 | 6. 年に数回 |
| 7. 今日が初めて | 8. その他 () | |

問 12 およそ5年前(コロナ前)と比較して、本路線の利用頻度は変わりましたか。(〇は一つ)

- | | |
|----------|----------------------------|
| 1. 増えた | ⇒月に____回 から 月に____回 程度に増えた |
| 2. 減った | ⇒月に____回 から 月に____回 程度に減った |
| 3. 変わらない | ⇒問 14へ |

問 13 利用頻度が変化した理由を教えてください。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| 【利用頻度が増えた理由】 | |
| 1. 外出頻度自体が増えたから | 2. 行き先が変わったから |
| 3. テレワーク・在宅勤務が増えたから | 4. 自家用車利用からムーバス利用に切り替えたから |
| 5. 自転車利用からムーバス利用に切り替えたから | 6. 路線バスやタクシー利用からムーバス利用に切り替えたから |
| 7. その他 () | |
| 【利用頻度が減った理由】 | |
| 8. 外出頻度自体が減ったから | 9. 行き先が変わったから |
| 10. 自家用車を利用するようになったから | 11. 自転車で移動するようになったから |
| 12. 路線バスやタクシーを利用するようになったから | 13. その他 () |

問 14 本路線を利用される主な理由は何ですか。(あてはまるもの5つの番号を記入)

1		2		3		4		5	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

1. 運賃が安い	2. バス停が近い
3. ほぼ時刻表通りに来る	4. ダイヤがわかりやすい
5. 乗り降りがしやすい	6. 足や身体が弱い
7. 自転車に乗れない、乗りにくい	8. 車を使えない、使いにくい
9. 家族や友人に送迎を頼まなくてもすむ	10. 幼児連れで外出しやすい
11. 子供や孫が乗りたがるため	12. 買物などの荷物が多い
13. 旅行や出張で荷物がある	14. 乗る人が顔なじみ
15. 地域の景色を眺められて楽しい	16. 買物に利用できる
17. 通院や見舞いに利用できる	18. 通勤に利用できる
19. 通学に利用できる	20. 雨や暑い日などの悪天候でも出かけられる
21. 夜でも安全に帰宅できる	22. バスの外観デザインなどが好きだから
23. ドライバーが親切だから	24. その他 ()

問 17 ~~天気の良い日(晴れ、曇り)と悪い日(雨)の交通手段について、それぞれ最も多いもの、2番目に多いものを教えてください。(下表の交通手段から選んで番号を記入してください)~~

	1番多い交通手段	2番目に多い交通手段
天気の良い日(晴れ、曇り)		
天気の良い日(雨)		

- | | | |
|----------------|------------|----------------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク |
| 4. 路線バス | 5. ムーバス | 6. 自家用車(家族・知人等の送迎) |
| 7. 自家用車(自分で運転) | 8. タクシー | 9. 福祉交通(レモンキャブ・つながり) |
| 10. 鉄道 | 11. その他() | |

4. ムーバスの運行などについてお聞きします。

問 15 以下のそれぞれの項目は、あなたにとってどの程度重要ですか。また、それぞれの項目について、どの程度満足と感じますか。

	1 重要	2 ふつう	3 重要ではない	1 満足	2 ふつう	3 不満
・目的地までの所要時間	1	2	3	1	2	3
・わかりやすい運行ルート	1	2	3	1	2	3
・乗降のしやすさ	1	2	3	1	2	3
・バス停までの距離の短さ	1	2	3	1	2	3
・運行時間帯の適切さ	1	2	3	1	2	3
・運賃のわかり易さ、手軽さ	1	2	3	1	2	3
・運行本数の多さ	1	2	3	1	2	3
・ドライバーの運転と対応	1	2	3	1	2	3
・覚えやすい時刻表	1	2	3	1	2	3
・時刻表通りの運行	1	2	3	1	2	3
・車両のデザイン	1	2	3	1	2	3

問 16 上記質問で、不満と回答いただいた内容について、どのようなことが不満と感じているか、改善して欲しい点はどのようなことかをご記入ください。尚、複数不満と感じる項目がある場合は、どの内容についての内容かわかるようにご記入ください。

5. ムーバス以外の交通手段についてお聞きします。

問 22 ~~あなたは運転免許をお持ちですか。(あてはまるもの全てに○印を)~~

1. ~~普通自動車以上~~ 2. ~~バイク~~ 3. ~~原付~~ 4. ~~持っていない~~

問 23 ~~あなたは自由に使える交通手段をお持ちですか。(あてはまるもの全てに○印を)~~

1. ~~自動車~~ 2. ~~バイク・原付~~ 3. ~~自転車~~ 4. ~~持っていない~~

問 17 本路線以外によく利用する交通手段を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|-------------|-----------------------|-----------------|----------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク | 4. ムーバス (他の路線) |
| 5. 路線バス | 6. 自家用車 (家族・知人等の送迎) | 7. 自家用車 (自分で運転) | |
| 8. タクシー | 9. 福祉交通 (レモンキャブ・つながり) | 10. 鉄道 | |
| 11. シェアサイクル | 12. その他 (| |) |

問 18 どうすれば、バス・ムーバスの乗継利用がしやすくなると思いますか。
(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 乗継割引がある | 2. バス停間の距離が近い |
| 3. 乗継案内の分かりやすい | 4. 待合環境の快適である |
| 5. その他(| 6. 乗継ぎしたくない |

問 19 あなたは普段、自転車をご利用されますか。利用される方はどの程度利用されるかお知らせください。(○は一つ)

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|---------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に4～5回 | 3. 週に2～3回 | 4. 週に1回 |
| 5. 月に数回 | 6. 年に数回 | 7. 利用しない | |

問 20 自転車に乗ることがある方にお伺いします。あなたはどのような目的の外出の際に自転車を利用されますか。あてはまるものを全てお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|----------|-------------|------------|-------------|
| 1. 通院 | 2. お見舞い | 3. 買い物 | 4. 通学 |
| 5. 通勤 | 6. 業務 | 7. 観光・レジャー | 8. 文化教室・習い事 |
| 9. 知人と会う | 10. 銀行・郵便局等 | 11. その他 | () |

問 21 自転車をお持ちの方は駐輪場の定期利用をされていますか。(○は一つ)
定期利用されている方は駐輪場名を教えてください。

- | | |
|--------------|---|
| 1. 定期利用していない | |
| 2. 定期利用している |  () 駐輪場 |

6. ムーバスの今後のあり方についてお伺いします。以下の文章を読んで質問にお答えください。

ムーバスは、市内の交通空白・不便地域を解消し、高齢者や小さな子ども連れの方をはじめ、多くの人々が気軽に安全にまちに出られるようにすることを目的に運行しております。

そのためムーバスは、路線バスと異なり、乗車距離にかかわらず一律100円で乗車できます。これは、「わかりやすく気軽に利用できる運賃」ということに加え、小学生から高齢者まで、また、シルバーバスの所有に関わらず、すべての人が100円を払って乗車することにより、利用者みんながムーバスの運行を支えるという会費としての考え方で設定しているものです。

ムーバス事業開始からおよそ30年が経過しようとしており、運転士不足による路線バスの減便や、道路交通状況の変化など公共交通を取り巻く環境は大きく変化し、ムーバスの運行にも影響を与えてきております。武蔵野市では、ムーバスが皆様にとって利便性の高いコミュニティバスであり続けるため、運転士の確保・労働環境改善を含め、利用状況に即した運行内容を検討しております。

年間約247万人（令和5年度）と多くの皆様にご利用いただいているムーバスではありますが、運賃収入のみでは運行のための経費を賄いきれず、令和5年度は約1億1千万円の運行補助金を市から支出している状況となっております。

問22 上記課題に対応してムーバスの運行を維持・継続していくために、乗務員不足への対応について、あなたのお気持ちに近いものを選んでください。

(1) 運行の見直しによる対応 (〇は一つ)

1. 利用者が少ない朝や夜の運行本数を減らすことで必要な人員を減らし、運転士を確保すべき。
2. 利用者が少ないバス停を廃止にすることで必要な人員を減らし、運転士を確保すべき。
3. 利用者が少ない路線で、例えば「20分に一本」が「40分に一本」の運行にすることで必要な人員を減らし、運転士を確保すべき。
4. その他 ()

(2) 財源の見直しによる対応 (〇は一つ)

1. 運賃を上げて、運行や運転士確保に必要な経費を補うべき
⇒利用者として許容できる運賃：1乗車につき _____円程度
※ご回答いただいた運賃額がそのまま反映されるわけではありませんが、検討の参考にさせていただきます。
2. 市が運行補助金をさらに増額し、運行や運転士確保に必要な経費を補うべき
3. 運賃以外の収入源を確保して、運行や運転士確保に必要な経費を補うべき
4. その他 ()

(3) 重要度について

上記の(1)(2)の対応についてどちらが重要と考えますか。(〇は一つ)

1. (1)の運行の見直し 2. (2)の財源の見直し 3. どちらともいえない

~~ムーバスの利用促進について、何か改善案等がありましたら、ご記入ください。~~問 23 もし、本路線がなかったとしたら、外出頻度はどのように変化しそうですか。
(〇は一つ)1. 変わらない 2. 少し減る 3. 減る
4. とても減る 5. 出かけなくなる

問

24

もし、本路線がなかったとしたら、代わりにどの交通手段を使って移動しますか。(下表から番号を選んでご記入ください)

1 番多く使いそうな交通手段	
2 番目に多く使いそうな交通手段	

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	4. ムーバス (他の路線)
5. 路線バス	6. 自家用車 (家族・知人等の送迎)	7. 自家用車 (自分で運転)	
8. タクシー	9. 福祉交通 (レモンキャブ・つながり)	10. 鉄道	
11. シェアサイクル	12. その他()	13. 代わりの手段はない	

調査は以上です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

●月●日(●)までに、お近くの郵便ポストにご投函ください。

路線バスの利用状況等に関するアンケート調査（案）

平素より、路線バスをご利用いただきありがとうございます。武蔵野市では交通事業者における深刻な人手不足・新型コロナウイルス感染症による利用落ち込み等を踏まえた、持続可能で便利な公共交通を目指し「地域公共交通計画」の策定を進めています。策定にあたり、路線バスの利用実態等を把握する必要があるためアンケート調査を実施することになりました。お手数をおかけしますがご協力をお願いいたします。

2024年●月 武蔵野市 交通企画課地域交通係

1. あなたご自身についてお伺いします。

問1 あなたの性別を教えてください。（〇は一つ）

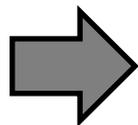
- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢を教えてください。（〇は一つ）

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 16歳未満 | 2. 16～19歳 | 3. 20～24歳 | 4. 25～29歳 |
| 5. 30～34歳 | 6. 35～39歳 | 7. 40～44歳 | 8. 45～49歳 |
| 9. 50～54歳 | 10. 55～59歳 | 11. 60～64歳 | 12. 65～69歳 |
| 13. 70～74歳 | 14. 75～79歳 | 15. 80～84歳 | 16. 85歳以上 |

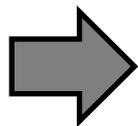
問3 あなたのお住まいを教えてください。（〇は一つ）

武蔵野市内に
お住まいの方



- | | | |
|----------|----------|---------|
| 1. 吉祥寺東町 | 2. 吉祥寺南町 | 3. 御殿山 |
| 4. 吉祥寺本町 | 5. 吉祥寺北町 | 6. 中町 |
| 7. 西久保 | 8. 緑町 | 9. 八幡町 |
| 10. 関前 | 11. 境 | 12. 境南町 |
| 13. 桜堤 | | |

武蔵野市外に
お住まいの方



- | | | |
|----------|----------|---------|
| 14. 杉並区 | 15. 練馬区 | 16. 三鷹市 |
| 17. 小金井市 | 18. 西東京市 | 19. その他 |

問4 あなたの就業・就学の状況を教えてください。(○は一つ)

1. 会社員・公務員	2. 自営業	3. パート・アルバイト
4. 専業主婦(夫)	5. 小学生	6. 中学生
7. 高校生・高専生	8. 大学・短大・専門学校・予備校生	
9. 仕事をしていない⇒問6へ		10. その他()

4) あなたはシルバーパスをお持ちですか。

① 持っている	② 持っていない
---------	----------

2. 調査票を受け取った日の利用状況についてお伺いします。

問5 本日の利用形態を教えてください。行きだけの利用の方は帰りの交通手段、帰りのみの利用の方は行きの交通手段を教えてください。(○は一つずつ)

<table border="1"> <tr> <td>1. 往復の利用</td> </tr> <tr> <td>2. 行きだけの利用</td> </tr> <tr> <td>3. 帰りのみの利用</td> </tr> </table>	1. 往復の利用	2. 行きだけの利用	3. 帰りのみの利用	→	<table border="1"> <tr> <td>1. 徒歩</td> <td>2. 路線バス</td> <td>3. タクシー</td> <td>4. 自転車</td> </tr> <tr> <td>5. シェアサイクル</td> <td colspan="3">6. その他()</td> </tr> </table>	1. 徒歩	2. 路線バス	3. タクシー	4. 自転車	5. シェアサイクル	6. その他()		
1. 往復の利用													
2. 行きだけの利用													
3. 帰りのみの利用													
1. 徒歩	2. 路線バス	3. タクシー	4. 自転車										
5. シェアサイクル	6. その他()												

問6 本日利用された路線バスの路線名とバス会社、乗車バス停と降車バス停を記入してください。予定でも結構ですので、行き・帰りそれぞれ記入してください。(わかる範囲で結構です)

<p>《行き》</p> <p>[路線名] _____ 行き</p> <p>(バス会社名) _____</p> <p>【乗車バス停】 _____</p> <p>【降車バス停】 _____</p>	<p>《帰り》</p> <p>[路線名] _____ 行き</p> <p>(バス会社名) _____</p> <p>【乗車バス停】 _____</p> <p>【降車バス停】 _____</p>
--	--

問7 本日は、何時台の路線バスに乗車されましたか。予定でも結構ですので、数字をご記入ください。

【行き】 大体 _____ 時台	【帰り】 大体 _____ 時台
------------------	------------------

問8 乗車目的を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 通院	2. お見舞い	2. 買い物	3. 通学
4. 通勤	5. 業務	6. 観光・レジャー	7. 文化教室・習い事
8. 知人と会う	9. 銀行・郵便局等	10. その他()	

問9 バスの運賃はどのような方法で支払いましたか。(〇は一つ)

- | | | | | |
|-------|--------|----------|-----------|-------------------|
| 1. 現金 | 2. 定期券 | 3. ICカード | 4. シルバーパス | 5. その他
(具体的に) |
|-------|--------|----------|-----------|-------------------|

問10 あなたが本日もご利用になった路線の利用頻度を教えてください。(〇は一つ)

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|---------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に4～5回 | 3. 週に2～3回 | 4. 週に1回 |
| 5. 月に数回 | 6. 年に数回 | 7. 今日が初めて | |

問11 本日、路線バス以外の交通手段と乗り継ぎされましたか。

(あてはまるもの全てに〇)

- | | | |
|-------------|-------------|----------------|
| 1. 乗り継がない | 2. 路線バス | 3. 鉄道(JR、井の頭線) |
| 4. ムーバス●●循環 | 5. ムーバス●●循環 | |
| 6. その他 () | | |

3. 日頃の利用状況についてお伺いします。

問12 およそ5年前(コロナ前)と比較して、路線バスの利用頻度は変わりましたか。

(〇は一つ)

- | | |
|----------|----------------------------|
| 1. 増えた | ⇒月に____回 から 月に____回 程度に増えた |
| 2. 減った | ⇒月に____回 から 月に____回 程度に減った |
| 3. 変わらない | ⇒問7へ |

問13 利用頻度が変化した理由を教えてください。(あてはまるものすべてに〇)

【利用頻度が増えた理由】

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| 1. 外出頻度自体が増えたから | 2. 行き先が変わったから |
| 3. テレワーク・在宅勤務が増えたから | 4. 自家用車利用からムーバス利用に切り替えたから |
| 5. 自転車利用からムーバス利用に切り替えたから | 6. 路線バスやタクシー利用からムーバス利用に切り替えたから |
| 7. その他 () | |

【利用頻度が減った理由】

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 8. 外出頻度自体が減ったから | 9. 行き先が変わったから |
| 10. 自家用車を利用するようになったから | 11. 自転車で移動するようになったから |
| 12. 路線バスやタクシーを利用するようになったから | 13. その他 () |

問 14 本路線以外によく利用する交通手段を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|-------------|-----------------------|-----------------|----------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク | 4. ムーバス (他の路線) |
| 5. 路線バス | 6. 自家用車 (家族・知人等の送迎) | 7. 自家用車 (自分で運転) | |
| 8. タクシー | 9. 福祉交通 (レモンキャブ・つながり) | 10. 鉄道 | |
| 11. シェアサイクル | 12. その他 () | | |

問 15 どうすれば、バス・ムーバスの乗継利用がしやすくなると思いますか。
(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 乗継割引がある | 2. バス停間の距離が近い |
| 3. 乗継案内の分かりやすい | 4. 待合環境の快適である |
| 5. その他 () | 6. 乗り継ぎをしたくない |

問 16 あなたは普段、自転車をご利用されますか。利用される方はどの程度利用されるかお知らせください。(○は一つ)

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|---------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に4～5回 | 3. 週に2～3回 | 4. 週に1回 |
| 5. 月に数回 | 6. 年に数回 | 7. 利用しない | |

問 17 自転車に乗ることがある方にお伺いします。あなたはどのような目的の外出の際に自転車を利用されますか。あてはまるものを全てお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|----------|------------|-------------|-------------|
| 1. 通院 | 2. お見舞い | 2. 買い物 | 3. 通学 |
| 4. 通勤 | 5. 業務 | 6. 観光・レジャー | 7. 文化教室・習い事 |
| 8. 知人と会う | 9. 銀行・郵便局等 | 10. その他 () | |

問 18 自転車をお持ちの方は駐輪場の定期利用をされていますか。(○は一つ)
定期利用されている方は駐輪場名を教えてください。

- | | |
|--------------|---|
| 1. 定期利用していない | |
| 2. 定期利用している |  () 駐輪場 |

問 19 以下のそれぞれの項目は、あなたにとってどの程度重要ですか。また、それぞれの項目について、どの程度満足と感じますか。

	1 重要	2 ふつう	3 重要ではない	1 満足	2 ふつう	3 不満
・運行ルート（行き先）	1	2	3	1	2	3
・1時間当たりの運行本数	1	2	3	1	2	3
・運賃・料金	1	2	3	1	2	3
・始発バスの時間	1	2	3	1	2	3
・最終バスの時間	1	2	3	1	2	3
・バス停までの距離	1	2	3	1	2	3
・目的地までの所要時間	1	2	3	1	2	3
・時刻表のわかりやすさ	1	2	3	1	2	3
・運転手の運転と対応	1	2	3	1	2	3

問 20 上記質問で、不満と回答いただいた内容について、どのようなことが不満と感じているか、改善して欲しい点はどのようなことかをご記入ください。尚、複数不満と感じる項目がある場合は、どの内容についての内容かわかるようにご記入ください。

問 21 路線バスの運行を維持・継続していくために乗務員不足への対応が必要となっています。あなたのお気持ちに近いものを選んでください。（○は一つ）

1. 利用者が少ない朝や夜の運行本数を減らすことで必要な人員を減らし、運転士を確保すべき。
2. 利用者が少ないバス停を廃止にすることで必要な人員を減らし、運転士を確保すべき。
3. 利用者が少ない路線で、例えば「20分に一本」が「40分に一本」の運行にすることで必要な人員を減らし、運転士を確保すべき。

4. 運賃を上げて、運行や運転士確保に必要な経費を補うべき

⇒利用者として許容できる運賃：1乗車につき_____円程度

※ご回答いただいた運賃額がそのまま反映されるわけではありません。

5. その他（ _____ ）

調査は以上です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

●月●日（●）までに、お近くの郵便ポストにご投函ください。

タクシーの利用状況等に関するアンケート調査（案）

平素より、タクシーをご利用いただきありがとうございます。武蔵野市では、交通事業者における深刻な人手不足・新型コロナウイルス感染症による利用落ち込み等を踏まえた、持続可能で便利な公共交通を目指し「地域公共交通計画」の策定を進めています。策定にあたり、市内タクシーの利用実態等を把握する必要があるためアンケート調査を実施することになりました。お手数をおかけしますがご協力をお願いいたします。

2024年●月 武蔵野市 交通企画課地域交通係

1. あなたご自身についてお伺いします。

問1 あなたの性別を教えてください。（○は一つ）

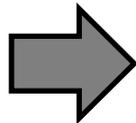
- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢を教えてください。（○は一つ）

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 16歳未満 | 2. 16～19歳 | 3. 20～24歳 | 4. 25～29歳 |
| 5. 30～34歳 | 6. 35～39歳 | 7. 40～44歳 | 8. 45～49歳 |
| 9. 50～54歳 | 10. 55～59歳 | 11. 60～64歳 | 12. 65～69歳 |
| 13. 70～74歳 | 14. 75～79歳 | 15. 80～84歳 | 16. 85歳以上 |

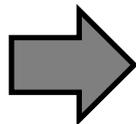
問3 あなたのお住まいを教えてください。（○は一つ）

武蔵野市内に
お住まいの方



- | | | |
|----------|----------|---------|
| 1. 吉祥寺東町 | 2. 吉祥寺南町 | 3. 御殿山 |
| 4. 吉祥寺本町 | 5. 吉祥寺北町 | 6. 中町 |
| 7. 西久保 | 8. 緑町 | 9. 八幡町 |
| 10. 関前 | 11. 境 | 12. 境南町 |
| 13. 桜堤 | | |

武蔵野市外に
お住まいの方



- | | | |
|----------|----------|---------|
| 14. 杉並区 | 15. 練馬区 | 16. 三鷹市 |
| 17. 小金井市 | 18. 西東京市 | 19. その他 |

問4 あなたの就業・就学の状況を教えてください。(〇は一つ)

1. 会社員・公務員	2. 自営業	3. パート・アルバイト
4. 専業主婦(夫)	5. 小学生	6. 中学生
7. 高校生・高専生	8. 大学・短大・専門学校・予備校生	
9. 仕事をしていない⇒問6へ	10. その他 ()	

2. 調査日のタクシー利用についてお伺いします。

問5 本調査票を受け取った日(調査日)を教えてください。

2024年__月__日

問6 調査日の乗車場所と降車場所を教えてください。(〇は一つずつ)

乗車	1. 自宅付近	2. 駅周辺 () 駅	3. 目的施設 ()	5. その他 ()
降車	1. 自宅付近	2. 駅周辺 () 駅	3. 目的施設 ()	5. その他 ()

問7 本日の乗車時刻を数字でご記入ください。

【行き】 大体 _____ 時台 【帰り】 大体 _____ 時台

問8 調査日のタクシーの利用方法を教えてください。(〇は一つ)

1. 駅前等のタクシー乗り場	2. 走っているタクシーを拾う
3. 電話でタクシーを呼ぶ	4. スマートフォンの配車アプリ
5. その他()	

問9 乗車目的を教えてください(あてはまるものすべてに〇)

1. 通院	2. お見舞い	3. 買い物	4. 通学
5. 通勤	6. 業務	7. 観光・レジャー	8. 文化教室・習い事
9. 知人と会う	10. 銀行・郵便局等	11. その他 ()	

問10 調査日のタクシーの支払方法を教えてください。(〇は一つ)

1. 現金	2. ICカード(スイカ・パスモ等)	3. タクシーチケット
4. クレジットカード	5. 福祉タクシー利用券	6. その他の電子決済
7. その他 ()		

3. 日頃のタクシー利用についてお聞きします。

問 11 普段のタクシーの利用頻度を教えてください。(〇は一つ)

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に4～5回 | 3. 週に2～3回 |
| 4. 週に1回 | 5. 月に数回 | 6. 年に数回 |

問 12 およそ5年前(コロナ前)と比較して、タクシーの利用頻度は変わりましたか。(〇は一つ)

- | | |
|----------|----------------------------|
| 1. 増えた | ⇒月に____回 から 月に____回 程度に増えた |
| 2. 減った | ⇒月に____回 から 月に____回 程度に減った |
| 3. 変わらない | ⇒問17へ |

問 13 利用頻度が変化した理由を教えてください。(あてはまるものすべてに〇)

【利用頻度が増えた理由】

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| 1. 外出頻度自体が増えたから | 2. 行き先が変わったから |
| 3. テレワーク・在宅勤務が増えたから | 4. 自家用車利用からムーバス利用に切り替えたから |
| 5. 自転車利用からムーバス利用に切り替えたから | 6. 路線バスやタクシー利用からムーバス利用に切り替えたから |
| 7. その他 () | |

【利用頻度が減った理由】

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 8. 外出頻度自体が減ったから | 9. 行き先が変わったから |
| 10. 自家用車を利用するようになったから | 11. 自転車で移動するようになったから |
| 12. 路線バスやタクシーを利用するようになったから | 13. その他 () |

問 14 平均1回当たりのご利用額を教えてください。(〇は一つ)

- | | | |
|-------------------|-----------------|-------------------|
| 1. 410円以下 | 2. 410円超～1,000円 | 3. 1,000円超～1,500円 |
| 4. 1,500円超～2,000円 | 5. 2,000円超 | |

問 15 タクシーの割引制度をご利用したことがありますか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | | |
|----------------------|------------|--------------|
| 1. 障害者割引 | 2. 免許返納者割引 | 3. 利用したことがない |
| 4. S. RIDE、GO等のアプリ特典 | 5. その他 () | |

問 16 あなたがタクシーを利用する理由を教えてください。(あてはまるものすべてに〇)

- | | | |
|-------------|--------------|-----------------|
| 1. 急いでいる | 2. 疲れている | 3. 他の交通機関がない |
| 4. 荷物が多い | 5. 雨天・暑い・寒い等 | 6. 駅・バス停等まで歩けない |
| 7. リラックスしたい | 8. お酒を飲んでいる | 9. その他 () |

問 17 令和6年4月からライドシェア※がスタートしましたが、利用したことがありますか。(○は一つ)

1. 利用したことがある。 2. 利用したことがない。 3. わからない

※ 一般ドライバーが自家用車で乗客を有償で運ぶサービス

問 18 ライドシェアがスタートし、タクシーの拾いやすさや呼び出しやすさは改善されたと感じますか。(最もあてはまるものに○)

1. 変化は感じない。
2. 朝時間帯においてタクシーを拾いやすくなった、呼びやすくなったように感じる
3. 日中時間帯においてタクシーを拾いやすくなった、呼びやすくなったように感じる
4. 夜間においてタクシーを拾いやすくなった、呼びやすくなったように感じる

4. その他の交通サービスの利用状況についてお伺いします。

問 19 タクシー以外によく利用する交通手段を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. ムーバス
5. 路線バス 6. 自家用車(家族・知人等の送迎) 7. 自家用車(自分で運転)
8. シェアサイクル 9. 福祉交通(レモンキャブ・つながり) 11. 鉄道
12. その他()

問 20 あなたは普段、自転車をご利用されますか。利用される方はどの程度利用されるかお知らせください。(○は一つ)

1. ほぼ毎日 2. 週に4~5回 3. 週に2~3回 4. 週に1回
5. 月に数回 6. 年に数回 7. 利用しない

問 21 自転車に乗ることがある方にお伺いします。あなたはどのような目的の外出の際に自転車を利用されますか。あてはまるものを全てお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 通院 2. お見舞い 2. 買い物 3. 通学
4. 通勤 5. 業務 6. 観光・レジャー 7. 文化教室・習い事
8. 知人と会う 9. 銀行・郵便局等 10. その他 ()

問 22 自転車をお持ちの方は駐輪場の定期利用をされていますか。(○は一つ)

定期利用されている方は駐輪場名を教えてください。

1. 定期利用していない

2. 定期利用している



(

)

駐輪場

5. タクシーサービスの改善意見等についてお伺いします。

問 23 あなたはタクシーを利用する際、以下のような困りごとを感じたことはありますか。

(○はいくつでも)

1. タクシーを呼ぶ際、どこに電話をかけていいかわからない

2. タクシーを呼んだが、スクールゾーン等の交通規制があり、家の前まで来てもらえなかった

3. タクシーがバス専用レーンを迂回するため、料金が高くなる(時間がかかる)

4. 買い物や飲食後にタクシーに乗る際、タクシーの乗り場までが遠い(乗り場がない)

5. その他()

問 24 自宅と指定した目的地 1 箇所(病院・スーパー等)の間を利用できる1か月乗り放題の「タクシー定期券」があれば、利用したいと思いますか。目的地はスーパー・病院等から選べます。(○は一つ、利用しない場合は理由も教えてください)

1. 利用したい ⇒支払える金額: 1回の利用額の()回分くらい

2. 利用しない ⇒理由:()

問 25 自宅と指定した目的地 1 箇所の間を利用できる片道運賃の10回分料金の11枚つづりの「タクシー回数券」があれば、利用したいと思いますか。目的地はスーパー・病院等から選べます。(○は一つ、利用しない場合は理由も教えてください)

1. 利用したい

2. 利用しない ⇒理由:()

問 26 あなたがタクシーを利用する際に以下のそれぞれの項目は、あなたにとってどの程度重要ですか。また、それぞれの項目について、どの程度満足と感じますか。

(○は一つ)

	1 重要	2 ふつう	3 重要ではない	1 満足	2 ふつう	3 不満
・安全性	1	2	3	1	2	3
・車内の快適性	1	2	3	1	2	3
・運転手の 丁寧な応接	1	2	3	1	2	3
・目的地までの 所要時間	1	2	3	1	2	3
・拾いやすさ	1	2	3	1	2	3
・呼び出しやすさ	1	2	3	1	2	3
・運賃の安さ	1	2	3	1	2	3
・運賃の支払い方法	1	2	3	1	2	3
・会社名 (グループ・ブランド)	1	2	3	1	2	3
・ドア・ツー・ドア	1	2	3	1	2	3

問 27 上記質問で、不満と回答いただいた内容について、どのようなことが不満と感じているか、改善して欲しい点はどのようなことかをご記入ください。尚、複数不満と感ずる項目がある場合は、どの内容についての内容かわかるようにご記入ください。

~~問 14 武蔵野市におけるタクシー利用について、ご要望などございましたら教えてください。~~

調査は以上です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

●月●日(●)までに、お近くの郵便ポストにご投函ください。

武蔵野市地域公共交通網形成計画 事業の進捗状況の一覧（令和5年10月時点）

【凡例】○実施、□検討中、△研究中

施策	事業	種別	実施主体	令和2年度【実績】	令和3年度【実績】	令和4年度【実績】	令和5年度【実績・予定】
施策① バス交通の高密度ネットワーク・高頻度サービスの維持	①-1 路線バスとムーバス事業による一体的なサービス提供	継続	バス事業者 武蔵野市	○ ・継続実施 ・感染拡大防止路線バス事業者支援補助事業を実施した。	○ ・継続実施 ・感染拡大防止路線バス事業者支援補助事業を実施した。	○ ・継続実施 ・公共交通事業者継続支援事業を実施した。	○ ・継続実施
	①-2 ムーバスの持続可能な運行に向けた見直し	新規	バス事業者 武蔵野市	○ ・4月1日から運行体系見直しにより土曜日ダイヤを導入した。 ・運行体系見直しにより回数乗車券の取扱いを廃止した。 ・9月16日から境南西循環の運行間隔を20分から15分に変更した（運行車両1台から2台に増）。 ・新型コロナウイルス感染症の影響による乗客数減少により特別ダイヤによる全日運行を開始した。 ・乗降客数等のフォローアップ調査を実施した。 【参考】資料4、資料5	○ ・乗降客数等のフォローアップ調査を実施した。 ・コロナ禍における乗客動向把握のため吉祥寺駅北口の乗降客数の目視調査を実施した。 ・広告収入の検討材料として、都内で実績のある事業者とヒアリングを実施した。 ・乗客数等の回復傾向を受け、令和4年2月1日から通常ダイヤでの運行を再開した。 ・令和4年3月1日から境・東小金井線の遅延解消のため、通過時刻配分を見直しダイヤ改正を行った。	○ ・乗降客数等のフォローアップ調査を実施した。 ・コロナ禍における乗客動向把握のため吉祥寺駅北口の乗降客数の目視調査を実施した。 ・広告収入について、他自治体の導入事例調査を実施した。 ・乗客数等の回復傾向のため通常ダイヤでの運行を継続した。 ・実態を踏まえた運行として、年末年始ダイヤを実施した。	○ ・乗客数の推移等のデータを収集分析して現行ダイヤの課題を抽出し、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえた効率的なダイヤの検討を進める。 ・広告の導入について、杉並区の導入事例やバス事業者との意見交換を実施した。今後、他自治体での導入事例を収集しつつ、各バス会社の広告を扱う代理店との打合せを行い、ムーバスにおける導入手法について検討を行う。
施策② 福祉交通の維持・確保	②-1 「レモンキャブ」「つながり」などによる武蔵野版・福祉交通の継続	継続	市民社協 タクシー事業者 武蔵野市	○ ・「レモンキャブ」「つながり」の継続実施 【参考】レモンキャブ総利用件数 R1:17,544件/R2:13,799件 【参考】つながり延利用件数 R1:4,225人/R2:3,185人	○ ・「レモンキャブ」「つながり」の継続実施 【参考】レモンキャブ総利用件数 R2:13,799件/R3:15,177件 【参考】つながり延利用件数 R2:3,185人/R3:3,528人	○ ・「レモンキャブ」「つながり」の継続実施 ・福祉タクシー事業の継続実施 【参考】レモンキャブ総利用件数 R3:15,177件/R4:15,235件 【参考】つながり延利用件数 R3:3,528人/R4:4,476人	○ ・「レモンキャブ」「つながり」の継続実施 【参考】レモンキャブ総利用件数 R5.7月末:5,352件 ・福祉タクシー事業の継続実施 【参考】つながり延利用件数 R5.7月末:1,538人
	②-2 主要拠点における福祉車両の乗降場所の確保	新規	武蔵野市	□ ・三鷹駅北口駅前広場の今後の交通環境整備に合わせて確保できるような検討を進めた。（⑥-2に記載のとおり） ・令和元年度から実施している一般車両向けの交通島の乗降について、注意喚起看板の掲示を継続することにより、福祉車両が安全・安心に停車ができるようにした。 ・タクシー乗り場について、朝の時間帯に東側に50cmずらす運用をすることで福祉車両スペースを十分に確保した。	□ ・三鷹駅北口駅前広場の今後の交通環境整備に合わせて確保できるような検討を進めた。（⑥-2に記載のとおり） ・令和元年度から実施している一般車両向けの交通島の乗降について、注意喚起看板の掲示を継続することにより、福祉車両が安全・安心に停車ができるようにした。 ・タクシー乗り場について、朝の時間帯に東側に50cmずらす運用をすることで福祉車両スペースを十分に確保した。	□ ・三鷹駅北口駅前広場の今後の交通環境整備に合わせて確保できるような必要な検討を行う検討を進めた。（⑥-2に記載のとおり） ・令和元年度から実施している一般車両向けの交通島の乗降について、注意喚起看板の掲示を継続することにより、福祉車両が安全・安心に停車ができるようにした。 ・タクシー乗り場について、朝の時間帯に東側に50cmずらす運用をすることで福祉車両スペースを十分に確保した。	□ ・三鷹駅北口駅前広場の今後の交通環境整備に合わせて確保できるような必要な検討を行う。 ・引き続き一般車両向けの交通島の乗降について注意喚起、タクシー乗り場の幅を運用でずらすことで、福祉車両が安全・安心に停車・乗降できるようにする。
施策③ 交通・福祉分野の「間」需要への対応	③-1 新たなタクシーサービスの検討	新規	タクシー事業者	○ ・配車アプリにより、タクシー予約や事前に運賃が確定するようになり、スマホが使える人には便利になっている。	○ ・オリバ開催に合わせて各種QRコード払い等支払い方法が多様化した。 ・新型コロナウイルス蔓延に伴い、感染者輸送のための専用車両（減圧車）を用意、東京都からの要請に応じた。 ・（引き続きのものとして）妊婦対応のマタニティタクシー、育児支援としてのキッズタクシー、子育て家庭の送迎支援を目的とした子育てタクシーを行っている。	○ ・タクシー車内に「会社名・車両番号」を表示したシールを貼付するなど過去からの引き続きのものもあるが、令和4年2月より聴覚障害のある方のため「耳マークステッカー」を表示した車両には「筆談用ノート」を用意してコミュニケーションの一助としている。 ・③-3に記載のとおり。	○ ・タクシーの配車アプリ事業者（プラットフォーム）による利用者へのサービスメニューの多様化…従来からある「事前確定運賃」だけでなく、セダンやワンボックス車両、UD車両などを選択配車や日時指定のできる仕組みの精緻化を進めている。 ・「間」交通について、困っているケースを調査、パターン化し、既存のサービスや交通手段を活用してもらえようアナウンス方法について検討する。
	③-2 バス&ベビ吉による子育て支援移動サービス	新規	武蔵野市	△ ・どのような連携サービスができるかについて子ども子育て支援課と意見交換を行った。 【参考】 ・ベビ吉利用数 R1:9,975件/R2:652件 ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況に合わせて、ベビ吉を全面休止若しくは一部休止を行った。	△ ・どのような連携サービスができるかについて子ども子育て支援課と意見交換を行った。 【参考】 ・ベビ吉利用数 R2:652件/R3:1,060件 ・R3.10.1より、吉祥寺パークキングプラザ公共自転車駐輪場(6台/6台)のみベビ吉を再開した。	△ ・どのような連携サービスができるかについて子ども子育て支援課と意見交換を行った。 【参考】 ・ベビ吉利用数 R3:1,060件/R4:1,761件 ・吉祥寺パークキングプラザ公共自転車駐輪場のみベビ吉を継続した。	△ ・貸出状況等のデータを整理し、ニーズの把握を行う。 ・どのような連携サービスができるかについて子ども子育て支援課と検討を行う。 【参考】 ・R5.4.1からコピス吉祥寺(4台/6台)にて、R5.6.1からアトレ吉祥寺(2台/3台)にてベビ吉を再開した。 ・台数減少や休止している会場については、新型コロナウイルス感染状況を見つつ、運営管理者とヒアリングを行いながら、検討していく。
	③-3 ちよいのり・相乗りタクシー	新規	タクシー事業者	○	△ 【参考】 ・三鷹市で行われる相乗りグリーンスローモビリティの実証実験に参加予定である。	△ 【参考】 ・10月24日より1年間、三鷹市内の交通不便地域解消への取り組みとして、三鷹台駅から井の頭地区内を走るグリーンスローモビリティと、大沢地区内でのオンデマンドタクシー（乗り合い）の社会実験を行う。	○ 【参考】 ・昨年R4年10月24日より、三鷹市内の交通不便地域解消への取り組みとして、三鷹台駅から井の頭地区内を走るグリーンスローモビリティと、大沢地区内でのオンデマンドタクシー（乗り合い）の社会実験を行っているが、とくに大沢地区でのオンデマンドタクシーについては本年10月1日より隣接する「井口エリア」に運行エリアを拡大し、実証実験を続ける予定である。
	③-4 福祉タクシーの周知・利用促進	新規	タクシー事業者 武蔵野市	○ ・ホームページに福祉タクシー利用券交付事業、事業者一覧を掲載しているほか、わたしの便利帳、広報誌「つながり」、「障害者福祉のしおり」で周知を図った。	○ ・ホームページに福祉タクシー利用券交付事業、事業者一覧を掲載しているほか、わたしの便利帳、広報誌「つながり」、「障害者福祉のしおり」で周知を図った。	○ ・ホームページに福祉タクシー利用券交付事業、事業者一覧を掲載しているほか、わたしの便利帳、広報誌「つながり」、「障害者福祉のしおり」で周知を図った。	○ ・引き続きホームページに福祉タクシー利用券交付事業、事業者一覧を掲載、わたしの便利帳、広報誌「つながり」、「障害者福祉のしおり」、広報誌での周知を行い、利用促進を図る。
施策④ 自転車交通等とバス交通の連携	④-1 バス+自転車MaaSアプリの検討	新規	活性化協議会	△ ・「新モビリティ分科会」を立ち上げ、公共交通のオープンデータ化についての勉強会を実施した。	△ ・駐輪場の利用状況把握に努めた。 ・駐輪場の利用体系変更等により、駐輪場が利用しやすい状況にある。（4-④記載のとおり）	△ ・駐輪場の利用状況把握に努めた。 ・駐輪場の利用体系変更等により、駐輪場が利用しやすい状況が継続しており、特段駐車台数の増も求められていない。（4-④記載のとおり）	△ ・国、東京都、他自治体の状況等、情報収集に努める。 ・引き続き駐輪場需要の状況把握を進める。
	④-2 サイクル&バスライドの検討	新規	バス事業者 民間企業等 武蔵野市	△ ・サイクル&バスライドに関する他自治体の情報収集に努めた。 【参考】3駅周辺の自転車停留台数（平日午後） R1:吉祥寺12,398台 三鷹6,266台 武蔵境8,005台 R2:吉祥寺 9,348台 三鷹4,789台 武蔵境6,013台	△ ・シェアサイクルの活用について事業者と情報交換を行った。 【参考】3駅周辺の自転車停留台数（平日午後） R3:吉祥寺8,692台 三鷹4,598台 武蔵境6,136台	△ ・シェアサイクルの活用について事業者と情報交換を行った。 【参考】3駅周辺の自転車停留台数（平日午後） R4:吉祥寺9,601台 三鷹5,203台 武蔵境6,218台	△ ・引き続き情報収集を行うとともに、試験実施に向けた研究を行う。 ・シェアサイクルのあり方について、自転車等駐車対策協議会と当協議会で、それぞれの視点から議論していく。
	④-3 パーク&バスライドの推進	継続	バス事業者 民間企業等 武蔵野市	○ ・ムーパーク事業の継続実施 【参考】ムーパーク利用台数 R1:17,094台/R2:17,326台	○ ・ムーパーク事業の継続実施 【参考】ムーパーク利用台数 R2:17,326台/R3:20,477台	○ ・ムーパーク事業の継続実施 【参考】ムーパーク利用台数 R3:20,477台/R4:21,163台	○ ・ムーパーク事業の継続実施

施策	事業	種別	実施主体	令和2年度【実績】	令和3年度【実績】	令和4年度【実績】	令和5年度【実績・予定】
施策④ 自転車交通等とバス交通の連携	④-4 自転車からバスへ転換する人を受け入れるサービスの検討	新規	バス事業者 武蔵野市	—	・駐輪場の利用体系の見直し実施後の利用状況について実態の把握を行った。従前と比較し、余裕がある利用状況となっている。 【参考】有料駐輪場契約率と待機者数(定期利用) R1 契約率95%/待機者数3,856人 R2 契約率85%/待機者数2,243人 R3 契約率55%/待機者数 0人 (R1は8月現在、R2は8月現在、R3は9月現在)	・駐輪場の利用体系の見直し実施後の利用状況について実態の把握を行った。従前と比較し、余裕がある利用状況が継続している。 【参考】有料駐輪場契約率と待機者数(定期利用) R4 契約率49%/待機者数 0人(8月現在)	・新型コロナウイルス感染症や利用体系見直しによる影響も踏まえた駐輪場の利用状況の把握を引き続き行う。
				△	△	△	
施策⑤ 分かりやすい情報の提供	⑤-1 地域公共交通の総合案内板及び総合案内マップ	新規	バス事業者 タクシー事業者 鉄道事業者 武蔵野市	△ ・他自治体の事例等について情報収集に努めた。	△ ・他自治体の事例等について情報収集に努めた。	△ ・他自治体の事例等について情報収集に努めた。	△ ・他自治体の事例を踏まえ、武蔵野市において効果的・効率的な総合案内マップのあり方について研究を行う。
	⑤-2 主要拠点での情報提供強化	新規	活性化協議会	△ ・「新モビリティ分科会」を立ち上げ、公共交通のオープンデータ化についての勉強会を実施した(再掲) ・オープンデータ化に向けバス事業者との意見交換を実施した。	△ ・国及び東京都が実施する会議に参加し、オープンデータの活用事例についての研究を行った。 ・国土交通省主催のGTFS-JP講習会に参加した。	△ ・国及び東京都が実施する会議に参加し、オープンデータの活用事例についての研究を行った。	△ ・杉並区にGTFSデータの活用方法等について情報収集を行った。 ・引き続き、国や東京都の実施する会議や講習会等に参加し研究に努める。
	⑤-3 バスナビによるリアルタイム情報提供	継続	バス事業者 武蔵野市	○ ・バスナビの継続実施	○ ・バスナビの継続実施	○ ・バスナビの継続実施	○ ・バスナビの継続実施
施策⑥ 駅周辺まちづくりと連携した交通空間の有効活用	⑥-1 「NEXT-吉祥寺」に基づく歩行者が優先される"歩いて楽しいまち"の形成	新規	バス事業者 タクシー事業者 吉祥寺活性化協議会 武蔵野市	□ 【交通結節機能の再編】 ・南口駅前広場の整備を目指し、用地折衝を継続的に進めた。 【物流の再編】 ・吉祥寺方式物流対策協議会と連携し、荷さばきルールの啓発、共同集配送事業などの荷さばき対策を行った。	□ 【交通結節機能の再編】 ・南口駅前広場の整備を目指し、用地折衝を継続的に進めた。 ・南口を中心とした交通環境改善に向け、交通課題の整理及び交通環境改善に向けた検討を行った。 【物流の再編】 ・吉祥寺活性化協議会と連携し、荷さばきルールの啓発、共同集配送事業などの荷さばき対策を行った。 ・ウエストエリアの荷さばきを含む交通環境把握のための事前調査の実施及び検討を開始した。	□ 【交通結節機能の再編】 ・南口駅前広場の整備を目指し、用地折衝を継続的に進めた。 ・南口を中心とした交通環境の改善に向け、「吉祥寺駅南口交通環境基本方針の策定に向けた考え方」を作成した。 【物流の再編】 ・吉祥寺活性化協議会等と連携し、荷さばきルールの啓発や共同集配送事業などの荷さばき対策を行った。 ・ウエストエリアの荷さばきを含む交通環境について、交通実態調査や改善方策の検討等を行った。	□ 【交通結節機能の再編】 ・南口駅前広場の整備を目指し、用地折衝を継続的に進める。 ・「吉祥寺駅南口交通環境基本方針の策定に向けた考え方」に基づき、吉祥寺大通りの広場活用等について検討する。 【物流の再編】 ・吉祥寺活性化協議会等と連携し、荷さばきルールの啓発や共同集配送事業などの荷さばき対策を行う。 ・共同集配送事業について、事業効率の改善に向けた検討等を行う。
	⑥-2 「三鷹駅北口街づくりビジョン」に基づく"ゆとりある駅前空間"の創出	新規	武蔵野市	○ ・街づくりビジョンのうち、交通環境に関わる課題解決のための「三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた考え方」を公表した。 ・バス、タクシー、福祉車両等の停車場幅員の暫定改善等に向けた三鷹駅北口駅前広場の改修計画について検討。	○ ・関係団体による研究会(準備会)を開催し、令和2年度に公表した三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた考え方に沿って、意見交換を行った。 ・補助幹線道路整備に向け、用地買収及び仮整備を実施した。	○ 三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けて、交通体系の再編や駅前広場の2ロータリー化・拡張等の取組みをたたき台として示した「交通環境基本方針の策定に向けた考え方」を基に、主に必要性の観点で地域の方々等と意見交換を行った。具体的には、三鷹駅北口に関係の深い団体から意見を聴く場として研究会を、広く意見を聴く場としてオープンハウス及びワークショップを、庁内及び学識経験者の意見を聴く場として庁内・アドバイザー委員会を開催した。 ・補助幹線道路整備に向け、仮整備を進めた。	○ ・令和4年度に取りまとめた地域の方々等の意向を踏まえながら、(交通体系の再編や駅前広場の2ロータリー化・拡張等の取組みについて、)庁内・アドバイザー委員会の開催や地権者の意向確認、パブリックコメントの実施を経て三鷹駅北口交通環境基本方針を策定する。 ・補助幹線道路整備に向け、引き続き用地買収及び仮整備を進める。
	⑥-3 武蔵境駅周辺における"安全で歩いて楽しいまち"の形成	新規	武蔵野市	○ ・都市計画道路武3・4・2号線事業について、一部用地買収・仮整備を行った。	○ ・都市計画道路武3・4・2号線事業について、一部用地買収・仮整備を行った。	○ ・都市計画道路武3・4・2号線事業について引き続き用地買収及び仮整備を行った。また、電線共同溝予備設計を実施した。	○ ・都市計画道路武3・4・2号線事業について、一部用地買収・仮整備を行った。
施策⑦ 運行環境の整備	⑦-1 ムーバスブランドを活用した乗務員確保の取り組み	新規	バス事業者 武蔵野市	○ ・ムーバス運行開始25周年を記念し、ヘッドマークを貼付した運行を実施した。	○ ・ムーバス運転士を対象に優良運転士表彰の実施した。 ・グッドデザイン・ロングライフデザイン賞に応募し、受賞となった。	○ ・ムーバス運転士を対象に優良運転士表彰を実施した。	○ ・ムーバス運転士を対象に優良運転士に該当する方がいれば、表彰を実施する予定。 ・10月14日(土)に市役所で実施した「親と子の武蔵野交通安全フェア2023」にてムーバスの乗車体験や運転士募集を実施した。 ・今後も市内のイベント等が実施されれば、ムーバスの乗車体験、運転士募集の広報に努める。
	⑦-2 バス待ち環境の整備	継続	武蔵野市	○ ・三鷹駅北口バス停の整列ラインの改修を行った。 ・三鷹駅北口駅前広場交通環境整備に合わせてバス停上屋の整備を行うこととなった。(⑥-2参照)	□ ・三鷹駅北口駅前広場交通環境整備に合わせてバス停上屋の整備を行うこととなった。(⑥-2参照)	□ ・三鷹駅北口駅前広場交通環境整備に合わせてバス停上屋の整備を行うこととなった。(⑥-2参照)	□ ・三鷹駅北口駅前広場交通環境整備に合わせてバス停上屋の整備を行うこととなった。(⑥-2参照)
	⑦-3 次世代環境対応車両等の普及促進	新規	バス事業者 タクシー事業者	○ ・UD車両やハイブリッド車両の導入、普及を進めた。	○ ・UD車両やハイブリッド車両の導入、普及を進めた。	○ ・UD車両やハイブリッド車両の導入、普及を進めた。	○ ・引き続きUD車両やハイブリッド車両の導入普及を進める。 ・地球環境に配慮したムーバスのEV化は、バス事業者やメーカーにヒアリングを行い費用対効果等の検証や、EV車両の視察をした。環境政策課と連携しながら、引き続き情報収集をし、導入の検討を行う。
	⑦-4 新たなモビリティの必要性・可能性についての検討	新規	武蔵野市	△ ・国、東京都、他自治体の状況等、情報収集に努めた。	△ ・国、東京都、他自治体の状況等、情報収集に努めた。	△ ・国、東京都、他自治体の状況等、情報収集に努めた。	○ ・国、東京都、他自治体の状況等、情報収集に努めた。 ・AIオンデマンド交通については、三鷹市大沢地区内の実証運行の視察やヒアリングを行った。